



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月3日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鷲 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岡野 浩二 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,914	△24.0	△144	—	△53	—	△186	—
2020年3月期第3四半期	10,418	△2.8	545	△6.0	544	△18.8	△413	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △304百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △177百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△57.32	—
2020年3月期第3四半期	△126.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,710	6,667	46.2
2020年3月期	13,927	7,195	44.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,876百万円 2020年3月期 6,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	△23.6	△230	—	△150	—	△280	—	△86.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	3,614,252株	2020年3月期	3,614,252株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	366,558株	2020年3月期	366,282株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	3,247,839株	2020年3月期3Q	3,277,250株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、経済・社会活動は大きく停滞しました。また、断続的な感染の再拡大により収束の兆しも見えておらず、厳しい状況が続いております。

染色加工業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛や各自治体からの営業自粛要請等により個人消費は大幅に落ち込み、大きな打撃を受けました。自粛要請等が解除された、6月以降には改善の動きはありましたが、感染の再拡大などにより、衣料品販売は依然として低迷しており、厳しい事業運営が続いております。

このような状況のもと、当社グループは国内の染色加工事業にて新型コロナウイルス感染拡大以前から市場規模に応じた生産体制への移行を実施しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大、長期化懸念から、更なる規模縮小や徹底的なコストの削減・見直しに注力しました。

また、「新しい生活様式」に対応するため、抗菌・抗ウイルスなどの特殊加工技術を活かした素材提案や商品の開発にも注力しました。

海外におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、マスク用途素材の受注は伸ばしたものの、国内向け販売が大幅に落ち込みました。厳しい状況が続くなか、受注回復の兆しも見えており、新規マーケットの開拓、新商品の開発、品質管理・生産効率の更なる改善に注力しました。

縫製品販売事業では、国内のマスク需要に対応するため不織布マスク・ガーゼマスクの販売を実施しました。また、当社の加工技術を活かしたユニフォームマスク、抗菌・抗ウイルス素材や肌にやさしいガーゼ素材を使用した新商品の提案・販売に注力しました。

保育サービス事業では、コロナ禍においても医療従事者支援の観点から、企業内(病院内)保育所の運営を続けて参りました。感染症対策に万全を期すとともに、更なる新規拠点の開設・運営や事業エリアの拡大に注力しました。

洗濯事業では、インバウンド需要の消滅によりホテルリネンが大幅に減少するなど、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける結果となりました。

これらの結果、売上高は7,914百万円(前年同期比24.0%減、2,504百万円減)となり、営業損失は144百万円(前年同期は営業利益545百万円)、経常損失は53百万円(前年同期は経常利益544百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は186百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失413百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

a. 染色加工事業

染色加工事業は、売上高は5,482百万円(前年同期比31.8%減、2,561百万円減)となり、営業損失は196百万円(前年同期は営業利益405百万円)となりました。

染色加工事業における部門別(加工料部門、テキスタイル販売部門)の業績は次のとおりであります。

(加工料部門)

国内では、マスク用途のガーゼ加工、抗菌・抗ウイルス加工・素材などの需要はありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための店舗休業や営業自粛による衣料用途・ユニフォーム向け定番品の大幅な落ち込みにより、大幅な減収となりました。海外では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う企業への社会活動制限による大幅な受注減少からインドネシア子会社は、大幅減収となりました。タイ子会社では、輸出向け受注は増加したものの、国内の定番品受注が激減し、減収となりました。

これらの結果、加工料部門の売上高は4,220百万円(前年同期比33.5%減、2,127百万円減)となりました。

(テキスタイル販売部門)

国内では、マスク用途のガーゼ生地販売は好調に推移しましたが、カジュアル向け販売は低迷しており、減収となりました。海外におきましても、マスク用途生地の販売は好調に推移しましたが、その他の通常販売生地の大幅な落ち込みにより減収となりました。

これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は1,262百万円(前年同期比25.6%減、434百万円減)となりました。

b. 縫製品販売事業

縫製品販売事業は、量販店向けの販売は低調に推移しましたが、ガーゼ・不織布マスクの販売、当社の加工技術を活かしたユニフォームマスク、抗菌・抗ウイルス素材マスクの提案・販売を実施した結果、売上高は381百万円(前年同期比51.4%増、129百万円増)、営業利益は16百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

c. 保育サービス事業

保育サービス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント関係の中止や利用者の利用控えから売上は減少しました。企業内保育を中心に徐々に売上増加の傾向にはありますが、新規拠点開設やエリア拡大のための費用を計上した結果、売上高は1,905百万円（前年同期比2.1%減、41百万円減）、営業利益は11百万円（前年同期比85.6%減、68百万円減）となりました。

d. 倉庫事業

倉庫事業は、ニット製品等の荷扱量減少はあったものの、新規客先の獲得や各種費用の見直しにより、売上高は157百万円（前年同期比15.3%減、28百万円減）、営業利益は5百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

e. 機械販売事業

機械販売事業は、染色加工関連設備の海外向け売上が減少したことにより、売上高は130百万円（前年同期比33.0%減、64百万円減）、営業利益は26百万円（前年同期比49.0%減、25百万円減）となりました。

f. 洗濯事業

洗濯事業は、新型コロナウイルス感染症の影響からインバウンド需要が壊滅的な影響を受け、ホテルリネンが大幅に減少するなど厳しい状況が続いており、売上高は46百万円（前年同期比54.1%減、55百万円減）、営業損失は42百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

g. その他事業

当セグメントには、システム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は76百万円（前年同期比9.1%減、7百万円減）、営業利益は63百万円（前年同期比11.2%減、8百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、12,710百万円（前連結会計年度末比8.7%減、1,216百万円減）となりました。これは主に現金及び預金の減少73百万円、受取手形及び売掛金の減少917百万円、原材料及び貯蔵品の減少84百万円等によるものです。

負債は、6,043百万円（前連結会計年度末比10.2%減、687百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少457百万円、電子記録債務の減少134百万円、その他流動負債の減少313百万円、長期借入金の借入による増加410百万円等によるものです。

純資産は、6,667百万円（前連結会計年度末比7.3%減、528百万円減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少186百万円、配当金の支払による減少64百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加76百万円、為替換算調整勘定の減少123百万円、非支配株主持分の減少246百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績結果に加え、第3四半期以降の当社グループを取巻く経営環境の見通しを勘案し、結果、2021年3月期通期連結業績予想につきましては、2020年10月23日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,473,558	2,399,619
受取手形及び売掛金	2,952,434	2,034,732
商品及び製品	228,512	221,706
仕掛品	248,377	238,230
原材料及び貯蔵品	371,033	286,946
その他	227,568	285,323
貸倒引当金	△17,688	△20,133
流動資産合計	6,483,795	5,446,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,338,481	1,286,540
機械装置及び運搬具(純額)	1,767,169	1,747,020
土地	1,762,202	1,751,996
建設仮勘定	142,270	93,708
その他(純額)	427,344	337,411
有形固定資産合計	5,437,468	5,216,677
無形固定資産		
その他	84,168	74,319
無形固定資産合計	84,168	74,319
投資その他の資産		
投資有価証券	1,554,738	1,658,082
繰延税金資産	25,066	9,291
その他	414,455	403,817
貸倒引当金	△72,376	△97,705
投資その他の資産合計	1,921,883	1,973,485
固定資産合計	7,443,520	7,264,482
資産合計	13,927,316	12,710,908

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	954,577	496,729
電子記録債務	664,492	530,260
短期借入金	1,015,000	980,000
未払法人税等	62,061	22,164
賞与引当金	118,070	55,209
その他	1,162,032	848,311
流動負債合計	3,976,233	2,932,675
固定負債		
長期借入金	1,185,000	1,595,000
役員退職慰労引当金	24,970	21,623
退職給付に係る負債	960,397	819,608
資産除去債務	43,924	51,828
その他	540,981	622,855
固定負債合計	2,755,274	3,110,915
負債合計	6,731,508	6,043,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,794,729	1,543,593
自己株式	△597,909	△598,220
株主資本合計	6,896,940	6,645,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,123	218,073
為替換算調整勘定	△830,221	△953,523
退職給付に係る調整累計額	△48,516	△33,066
その他の包括利益累計額合計	△737,614	△768,517
非支配株主持分	1,036,482	790,340
純資産合計	7,195,808	6,667,317
負債純資産合計	13,927,316	12,710,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	10,418,454	7,914,123
売上原価	8,620,790	6,930,417
売上総利益	1,797,663	983,705
販売費及び一般管理費	1,252,430	1,128,130
営業利益又は営業損失(△)	545,233	△144,424
営業外収益		
受取利息	10,329	4,335
受取配当金	47,651	48,155
補助金収入	-	23,748
為替差益	-	45,070
雑収入	13,328	8,652
営業外収益合計	71,310	129,962
営業外費用		
支払利息	13,590	13,245
固定資産廃棄損	15,489	9,880
為替差損	17,571	-
支払手数料	8,467	7,792
雑支出	17,184	8,018
営業外費用合計	72,303	38,936
経常利益又は経常損失(△)	544,239	△53,398
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,960
国庫補助金	-	46,937
特別利益合計	-	50,898
特別損失		
固定資産圧縮損	-	46,937
減損損失	692,618	-
社葬費用	24,434	-
特別損失合計	717,053	46,937
税金等調整前四半期純損失(△)	△172,813	△49,437
法人税、住民税及び事業税	84,579	58,273
法人税等調整額	14,290	83,320
法人税等合計	98,869	141,593
四半期純損失(△)	△271,683	△191,031
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	142,093	△4,855
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△413,777	△186,176

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△271,683	△191,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80,807	76,949
為替換算調整勘定	5,715	△201,117
退職給付に係る調整額	7,989	10,363
その他の包括利益合計	94,513	△113,804
四半期包括利益	△177,170	△304,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△295,367	△198,689
非支配株主に係る四半期包括利益	118,197	△106,146

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付引当金の数理計算上の差異の処理年数の変更)

従来、当社の数理計算上の差異の費用処理年数は9年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を8年に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ11,076千円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,983,839	242,610	1,947,549	30,866	55,264	102,081	10,362,211	56,242	10,418,454	—	10,418,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	60,403	9,427	—	154,855	139,500	—	364,186	27,971	392,157	△392,157	—
計	8,044,243	252,037	1,947,549	185,721	194,764	102,081	10,726,397	84,213	10,810,611	△392,157	10,418,454
セグメント利益又は損失(△)	405,980	△4,760	79,509	△888	51,370	△10,508	520,704	71,710	592,414	△47,181	545,233

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,181千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「染色加工」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては650,128千円であります。

「その他」セグメントにおいて、付随事業である不動産賃貸事業の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては42,490千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	5,464,890	373,467	1,905,777	15,277	53,813	46,859	7,860,085	54,038	7,914,123	—	7,914,123
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	17,775	8,004	—	142,072	76,700	—	244,552	22,531	267,084	△267,084	—
計	5,482,666	381,471	1,905,777	157,350	130,513	46,859	8,104,638	76,569	8,181,208	△267,084	7,914,123
セグメント 利益又は 損失(△)	△196,546	16,345	11,462	5,283	26,180	△42,026	△179,302	63,654	△115,647	△28,777	△144,424

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△28,777千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「洗濯事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。